

論点等説明シート

事業名	生涯現役支援窓口事業				
予算の状況 (単位:百万円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	補正後予算額 (前年度からの繰越等を含む)	2,731	2,763	2,843	2,905
	執行額	2,605	2,640	2,821	
	執行率	95%	96%	99%	

事業についての論点等

(事業の概要)

全国の主要なハローワーク(300箇所)に、高年齢者等への支援に特化した生涯現役支援窓口を展開する事業である。
 事業実施にあたっては、事業担当責任者、職業相談員、求人者支援員及び就労・生活支援アドバイザー等から構成される支援チームをハローワーク内で結成し、高年齢者一人ひとりの就労経験や就労ニーズ等を踏まえ、就労の機会の提供のみならず、職業生活の再設計に係る支援等、総合的支援を実施する。

(論点)

- ・全国300箇所のハローワークに当該窓口を設置している一方で、事業実施のための専門的支援チームを構成する職業相談員、求人者支援員及び就労・生活支援アドバイザーは、
 職業相談員:280人
 求人者支援員:178人
 就労・生活支援アドバイザー:181人(いずれも令和7年度配置数)
 と、300箇所にそれぞれ1人ずつ配置できる状況となっておらず、当該事業の特色である「チーム支援」の実施によって期待される効果を十分に発揮できていないのではないかと、
- ・現在の成果目標は例年達成されているが、一般的な職業相談や職業紹介のみならず、専門的チームによる「チーム支援」を実施するという事業目的の達成状況を評価する適切な指標になっているか。本事業の効果を検証するため、アウトカム指標として、例えば、当該事業における支援内容の1つとして「就労後のフォローアップの実施」があるのであれば、「〇ヶ月後の定着率」のような、より適切な成果目標を設定すべきではないかと。

※現行の成果指標
 (アクティビティ1)
 本事業の支援を受けた65歳以上の求職者の就職率
 (アクティビティ2)
 本事業の支援を受けた概ね60~64歳の求職者の就職率